

## 久しぶりの「自主防災キャンペーン」を実施！

### — 消火器とスタンドパイプの使用訓練に30人参加 —

10月21日(土)10時から東公園で「自主防災キャンペーン」が実施されました。コロナ感染症の対処方針が緩和された中で、対象を街区役員と防災部員・自主防災委員に絞って30名が参加し、実技には消防署員2名、石神台住民を含む地元消防団5名、町の危機管理課1名が指導にあたってくれました。実技訓練は3年半振りでした。

まずは東公園で消火器の使用訓練をやりました。消防士の手ほどきで、参加者全員が火元に向けて消火器を操作し消火を実演しました。中で質問がありましたが、消火器は一般的に「粉末式」ですが、水・泡やガス式もあります。耐用期間は中身の薬剤は5年、消火器そのものは10年をメドにチェック・交換が必要とのことです。



次は「スタンドパイプ」訓練を公園前の歩道に黄色枠で表示されている『消火栓』を使って行いました。（\*消火栓は石神台に11ヶ所あります。）消火器は台所ガスやストーブ発火で使いますが、スタンドパイプ消火器具は消防車が駆けつけてくるまでの初期消火目的になります。



操作手順は① 路上の消火栓マンホール蓋を開ける ②マンホール内の消火栓にスタンドパイプを結合 ③ スタンドパイプにホースを結合 ④ ホースの先に管槍(放水用筒先)を装着 ⑤ 「放水はじめ」の合図で、十字ハンドルをゆっくり回して水を送る ⑥ 筒先ノズルを調整して放水…。

消防士・消防団員の真剣な指示を受けながらチームを組んで持ち場持ち場の操作・行為を体験しました。うまく放水までこぎつけると参加者の顔にほっと笑顔がほころびていました。

## 11月5日には、「大磯町津波土砂避難訓練」

### 石神台では安否確認の黄旗掲出訓練で参加

町では11月5日(日)の9時から“地震発生”の防災無線を機に「津波土砂避難訓練」が行われました。石神台では「回覧」でお知らせがあったように、大地震を想定した「黄旗掲出・安否確認訓練」が行われました。前日が第1土曜日と云うことで連日の「訓練日」となりましたが街区を回ると連日にめげず黄旗掲出が見られました。

### 【安否確認集計結果】


実施日	R5.11.5	R4.11.5
世帯数	655	654
黄旗掲出	438	364
割合	67%	56%

掲出状況は昨年より10%も多くなりました。皆さんの積極的な行動参加と街区役員の皆さんの安否確認・声掛けなどご苦労様でした。

年末ももうすぐやってきます。火器の使用が多くなり空気も乾燥してきます。”火”には注意しましょう。

**にこにこマークは無事の印**  
訓練日みんなで出そう黄色旗

毎月の第1土曜日 午前中



12月は2日  
1月は6日  
です。  
「いざ」という時にあわてない訓練をしよう！

石神台 7日

年末ももうすぐやってきます。火器の使用が多くなり空気も乾燥してきます。”火”には注意しましょう。